

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	816000-01-02
事務事業名	アリットフェスタ開催事業			担当部課	教育部 博物館
				電話番号	04-2934-7711 内線
総合計画 基本計画	施策の大綱	02	学びあいのまちづくり	実施期間	平成7年 ~ 年
	政策(節)	03	社会教育の充実		
	施策(項)	01	社会教育環境の充実	その他の計画	
予算事業名	アリットフェスタ開催事業			予算事業番号	2233
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
事業開始の背景・経緯	平成7年度から秋季特別展は「アリットフェスタ」と称し、規模の大きな特別展示と多彩な関連イベントを組み合わせた事業として開催してきた。予算規模縮小に伴い、実質はオリジナルの特別展示とその関連事業になっているが、1年の中での代表的事業として定着した。				

2 事務事業の目的・内容

対象	市内・市外を問わず一般	実施の根拠 (法令・条例等)	博物館法、入間市博物館条例
目的 (もたらそうとする成果)	市民の生涯学習に対する意欲の高まりに応えるために、地域の歴史、文化やお茶などに関するさまざまなテーマを取り上げて展覧会を開催し、合わせて展示の学習効果を高めるために関連事業を開催する。		
全体の事業内容	入間市の自然、歴史などを総合的に扱うとともにお茶に関する事項も取り扱う博物館として、地域の歴史、文化、お茶などに関するテーマに特別展という形での展覧会を開催する。		

3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の 実施内容	狭山茶取引開始200周年を記念して特別展「史料で読み解く 狭山茶の歴史」を開催した。また、関連事業として、講演会・見学ツアー・ギャラリートーク・狭山火入れ実演を実施した。展示内容をまとめた図録を発行し、図書館・学校・近隣博物館等に配布し、また有償での販売を行った。							
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
実施 状況	① 特別展の入場者数	目標値又は前年度値	人	4,000	4,000	4,000	0	過去の特別展の実績値から想定。※令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止。
		実績値	人	4,255	2,493	2,788		
		達成率又は前年度比	%	106.38	62.33	69.7		
	② 特別展の観覧料収入	目標値又は前年度値	円	200,000	250,000	200,000	0	過去の特別展の実績値から想定。※令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止。
		実績値	円	366,400	115,200	95,600		
		達成率又は前年度比	%	183.2	46.08	47.8		
	③ 特別展の関連事業参加者人数	目標値又は前年度値	人	300	300	300	56	事業の定員(見込数)から想定。※令和2年度は新型コロナウイルスの影響で規模縮小。
		実績値	人	583	541	808		
		達成率又は前年度比	%	194.33	180.33	269.33		
	④ 特別展図録の頒布料収入	目標値又は前年度値	円	100,000	140,000	100,000	150,000	過去の特別展の実績値から想定。
		実績値	円	366,800	100,500	144,200		
		達成率又は前年度比	%	366.8	71.79	144.2		
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
成果	① 特別展入場者の展示に対する満足度	目標値又は前年度値	%	82	94.8	89	82	入場者アンケートで「とても良い・まあ良い」の割合(前年度実績)
		実績値	%	94.8	89	82		
		達成率又は前年度比	%	115.61	93.88	92.13		
	② 特別展に占めるリピーターの割合	目標値又は前年度値	%	67	70.1	72	75	入場者アンケートで、来館回数が2回以上の割合(前年度実績)
		実績値	%	70.1	72	75		
		達成率又は前年度比	%	104.63	102.71	104.17		

無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	2,000 千円	1,977 千円	2,027 千円	2,004 千円	
		決算(見込)額 ①	2,064 千円	1,490 千円	1,572 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.7 人	0.47 人	0.7 人	
			嘱託・再任用	0 人	0.68 人	0 人	
			パート等	0.05 人	0.18 人	0.19 人	
		人件費 ②	5,746 千円	6,554 千円	6,217 千円		
	総事業費 ③=①+②		7,810 千円	8,044 千円	7,789 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		440 千円	216 千円	239 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		440 千円	216 千円	239 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		7,370 千円	7,828 千円	7,550 千円			
効率性 指標	指標名	特別展入場・関連事業 ⑦	4,838 人	2,493 人	2,788 人		
	コスト	入場者数1人当たり ③÷⑦	1,614 円	3,226 円	2,793 円		
備考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> やや向上 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価 博物館で実施した最新の調査研究成果に基づき、学術的に充実した内容としつつ、解説パネルや図録の文章を、学校教育でも活用できるよう平易で分かりやすい内容に工夫した。来るべき常設展示改修の布石となった。		今後の方向性 <input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		改善の評価
	狭山茶取引開始200周年を記念した特別展「狭山茶の歴史(仮)」を開催し、併せて講座や見学ツアーを実施する。調査研究の成果を、学校教育等にも活用しやすい内容にして、来るべき常設展示改修の布石となる事業としたい。		
	令和 2年度の取り組み課題		
	関谷和氏が旧元狭山村の昭和初期の暮らしを描いた約150点の原画を展示する「思い出の元狭山村(仮)」を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で展覧会は中止とし、図録の発行と関連事業の実施のみに規模を縮小する予定。		
令和 3年度の取り組み課題			
これまでに実施したアリットフェスタの成果を常設展示に反映させるため、アリットフェスタ開催事業を一時休止し、その財源と職員を常設展示改修事業に充てる予定。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	